

新建 おおさか

2022 夏

- 「中之島を緑の島に」中之島まつりに出展しました
- 西日本ブロック会議 in 京都
「北山エリア開発学習交流会」に参加して
- 世相を斬ります いろは川柳「くらし・建築・まちづくり編」
- おじゃまします 健康住まい工房 藤田敦夫さんを訪ねて
- 「カジノの是非は府民が決める 住民投票をもとめる会」

長居公園に様々な施設が誕生したらしいので、
家族4人でいってみると・・・



桜珈琲

折角ならとモーニングセットを頼みました。
770円 × 4人 = 3080円



CERZO FUTSAL PARK NAGAI



フットサルで1時間汗を流しました。
友人家族と2チームだったので折半で3000円



長居公園は昔、犬の散歩でよくでかけました。ただただ広くのんびりしていて、解放感を味わう事が出来ました。
今、公園には施設が詰め込まれ、使用料を払わないと楽しむことができません。なぜ私たちが支払っている税金で公園を維持することが、「大きな支出」と問題視されているのか。IR 実現のため4000億円以上も使う事は「正当な支出」となぜ言えるのか。
まだ施設は建設されるようですが、とりあえずこれらを1日、4人家族で満喫すると、20080円になります。



ヤンマー直営レストラン「YANMAR MARCHÉ NAGAI」

お腹が空いたのでランチしました。
カレー 1250円として × 4人 = 5000円



チームラボ ボタニカルガーデン 大阪

思い出にチームラボを見ました。
大人 1600円 × 2人 = 3200円
子ども 500円 × 2人 = 1000円
合計 4200円



本格アスレチック「ボウケンノモリ NAGAI」

子ども達にせがまれてアスレチックにチャレンジしました。
ピクニックコース 1200円 / 1周 × 4人 = 4800円

※写真はインターネットより

「中之島を緑の島に～未来へのおくりもの」提案

中之島まつりに展示ブースを出展しました 中西 晃

去る5月3日～5日の3日間、当支部の運動の原点でもある「中之島の近代建築群の保存運動」を契機にして1973年から開催されている「中之島まつり」において、「中之島を緑の島に～未来へのおくりもの」をテーマにした展示ブースを出展しました。中之島は、この数十年の間に「東洋陶磁美術館」や「地下鉄駅入口」、「護岸工事」「レストラン」等建設により、それまで豊かであった緑が急速に減少してきました。支部では、安藤忠雄氏の「本の森建設問題」をきっかけにして、約3年前から中之島をもう一度見直そうという機運が高まり、中之島まつりにおいて提案する準備を進めてきました。コロナ禍の影響により中断されていたまつりが三年ぶりに開催されることとなり、ようやく展示ブースを出展することができました。

展示会では、二色(黄色と青色のプラダン)のパネルに、中央公会堂や府立図書館、取り壊された大阪市役所の写真、中之島再開発計画、中之島を守る会等の写真のほか、中之島に残された緑地でくつろぐ市民の写真、中央公会堂を背景に広がる芝生と人を描いた提案パース等を掲示しました。更に、中之島の歴史建造物や保存運動の歴史、緑の実態、現在の使われ方などを分かりやすく収録したビデオを上映。「中之島を緑の島に」提案について市民にアナウンスできたと思います。ビデオは下記のウェブ(<https://youtu.be/te60V9Nj760>)をご覧ください。

また、会場ではモザイクタイルとてっぺい石、木片、竹等を組み合わせたワークショップを開催。これには3日間で約160組を超える家族や子供達が参加し、大変にぎやかで楽しい展示会の一コマになりました。この他、支部のブース横では、カジノ誘致の賛否を問う「大阪府条例制定請求署名」も行われました。支部では、新自由主義の名の下で進められている都市公園の営利・私的利用の調査を検討中です。来年のまつりでは「中之島を緑の島に」の展示と併せて市民に提案したいと考えています。

【中之島まつり支援基金お願い】今年で四十九回目を迎えた中之島まつりはコロナ禍で2年中止となり、深刻な財政難です。支部では、「0.07は1/2を支援する中之島まつり大作戦」と題した募金活動を実施中です。月収の3.5%を目途にご協力下さい。振込先は下記まで。

ゆうちょ銀行：【店名】四一八【口座番号】普通 7731849

【名義】中之島まつり実行委員会

三菱 UFJ 銀行：【店名】天神橋支店【口座番号】普通 3866164

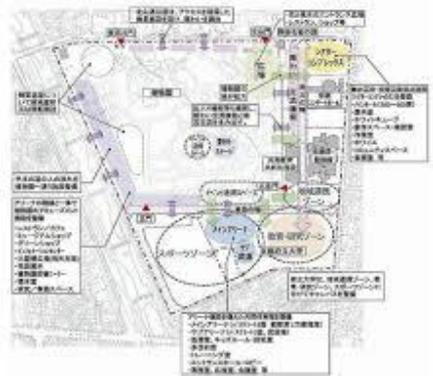
【名義】中之島まつり 中間正隆(ナカマサタカ)



西日本ブロック会議 in 京都

大原紀子

去る5月21日、京都に於いて西日本ブロック会議が行われました。京都も昨今の再開発問題と同様、京都府の「北山エリア整備計画」が発表され、『憩いの緑と躍動するまちが融合した「文化創造の森」の創出』と謳いながら、中身はカフェ・レストラン、宿泊施設、シアターコンプレックスなど大規模な建築をバンバン建てていくという、建物ありきの計画だと再認識しました。



中でも京都府立大学の体育館をアリーナにしようとするのは、民間の営業の隙間を縫って授業やクラブ活動を行うという、大学教育の側面からも異常な考え方です。

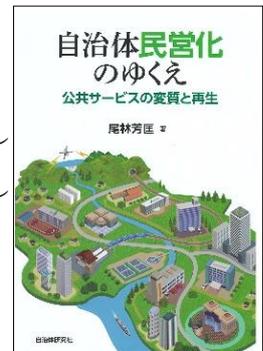
何故、京都府が学生の教育を犠牲にして民間の儲けに寄与しなければならないのでしょうか。例えばB'zのコンサートの間は立ち入ることもできないということなんではないでしょうか。

私たちはこの開発に反対する「北山エリア開発 学習・交流会」に参加し、この中でPFI問題に日頃関わっておられる弁護士の尾林芳匡さんの講演を聞き、PFIのこれまでの経緯や問題点などを知りました。後日、尾林氏の著書を購入し、読み進めているところです。

勉強会の後は実際の計画地を歩き、植物園を散策しました。植物園はただ植物を並べればよいというものではなく、植物のある空間を季節とともに体感しその空間にいる時間を豊かに過ごすことが大切です。広い面積だから切り売りしていいというものではありません。

この京都府立植物園は1924年に開園した日本最古の公立植物園で、希少種から馴染みのある植物まで1万2000種にも及ぶ植物が生育しています。

何故、京都府は府の誇りとして守っていかうとしないのでしょうか。



植物園を後にし、京都支部のもえぎ設計におじゃまし、京都、奈良、岡山、大阪支部とオンラインでつながれた福岡支部で様々な議題を話し合いました。奈良公園内のホテル問題、福岡市内の高層ビル計画、大阪IRや枚方駅前再開発問題、てんしばを初めとする公園のP-PFI問題など、民間企業の儲けのために、公共空間がいとやすく差し出されている昨今の状況は、将来まちなみがバラバラになってしまうのみならず、福祉としてあるべき空間がなくなり、街はにぎわって消費が活発になればそれでいい、という価値観の変質が起きてしまわないかと心配になりました。

む 無垢材は 集成材より “向く材” です

う 雨量増え 十年確率 毎年に

る 今も昔 姉齒偽造は 二度三度

の ノーチェック 2重カウント 統計値

お オーウェルは 応援しません 管理社会 (一九八四年)

く 掘削で 河川水枯れ リニアミス

や やめてえな 地震カミナリ カジノ NO

ま まちづくり 市民はいつも まちぼうけ

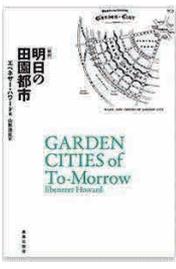
け 限界の 集落増加 人減少

ふ フローより ストック再生 低炭素

こ コロナ禍で サプライチェーン サプライズ

え エンゲルの 係数上昇 貧困化

て 田園都市 調布でハザード ハワード驚 (卿)



あ アスベスト 肺がん誘発 アンBest

さ 3Kと 若者敬遠 建設業

き 基準法 最低基準が 最基準

ゆ 輸入材 依存に異存 山河荒れ

め 免振の ゴムばね不正で 大揺れに

み 見えざる手 アダムスミスも お手上げや

し 住宅に ソーラー義務とは そーら適わん

ゑ 円安に 資材高騰 工事難

ひ 人も減る 都市はコンパクト にシティや

も 森荒れる 里山荒れる 熊荒れる

せ 設備過多 「省エネ」 住宅 炭素過多

す スクラップ アンドビルドは 不滅です (ゼネコン賛歌)

ん んんちゃと あきれたホヨヨ アラレちゃん (Part3です)



川柳

くらし・建築・まちづくり編

新建大阪支部

中西 晃

い 一九六九年はウッドストック 今パニック (ウッドストック伝説)

ろ 老朽化 インフラ限界 フラフラヤ

は パブコメは 問答無用で 門戸閉じ

に 日本版 OECD 支援 美味しいで

ほ 法改正 事故が起きたら やりましょう

へ 偏心の 荷重が過重で 可住不可

と 東南海 遠くなんかない 大地震

ち 地球病む 気候変動 聞こうへんど (T氏)

り 臨海の 埋めたて万博 浮く?沈む?

ぬ 塗る壁に ヴァンダリズムは 晩だ塗る

る 留守の果て 家屋は荒廃 歴史消え



を 温暖化 山火事干ばつ まち浸水

わ ワシントン 条約反故で 保護放置

か 官主導 ワークシヨップは 出来レース

よ 世直しや 賄賂に接待 よう直しや

た 田圃減る 洪水調整 担保減る

れ 連綿と 続く技術は 至宝です

そ ソーラーに 水力・地熱・風発電

つ 鶴来たる ラムサールで 湖沼保全

ね 寝るに住む 食うに事欠く 世帯増え

な 無くならぬ 官製談合 “せく”ならぬ

ら 乱開発 犠牲になるのは 民ばかり



おじゃま
します

健康住まい工房 藤田敦夫さんを訪ねて

新建大阪支部 大原紀子

新建の会員で「健康」にフォーカスして建築をされている「健康・住まい工房おおさか」の藤田敦夫さんの事務所におじゃましました。

大阪天神さんのすぐそばにある事務所はビルの1階。広い事務所は床と壁が天然の木で、いい香りがする「もっと居たいな」と思わせる最高のスペースです。壁にはf-con（光冷暖）が備え付けられ、おじゃましたのは2月ですが、不快なエアコンの吹き出し風もなく、身体にやさしい環境でした。ご自身のお住まいのマンションでも同じパネルがあり、玄関先で18°C、朝も下着のまま居られる快適空間になっているそうです。最近ではエアコンの風が皮膚にダメージがある人も増えていて、空気の質を気にする傾向が強いです。ビニールクロスやVOC問題などについても造詣が深い藤田さんは、FFC処理を施した家づくりを行って気が付いた事がある、「すごくよくわかるのは、実は引越し屋さんなんです」とのこと。何軒もの家を訪ねる引越しさんは住空間の匂いや、嫌な感じを察知しているのでしょうか。

藤田さんが「健康住宅」にこだわられるようになったのは、ご自身が身体が強い方ではなく、**医・食・住**を発信していきたいという思いからだそうです。

健康住宅を実現する上で欠かせない木の問題についても、国の方向付けが大切で、予算を入れてちゃんと学ぶことができるように政治が変えないと、と危機感を持たれていました。「ゼロ宣言の家」という医師が薦める住宅では、障害を持っていてトイレも1人で行けなかった子どもが、階段を上がれるようになったという事例もあり、とにかく建物の中の人間が健康であるべきであり、建築デザインというのは物質的なカタチだけではなく、まちづくりとしてどうかという事だけでもなく、中の空気も含めて住まい手の立場に立つのが重要なんだと痛感しました。



藤田さん
f-con（光冷暖）をバックに



無垢の杉板床がやわらかな内装

健康・住まい工房おおさか

〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-13-15 大阪グリーン会館 1F

TEL 06-4801-7736

FAX 06-6809-2488

「カジノの是非は府民が決める 住民投票をもとめる会」の活動が意味すること

新建大阪支部 山口達也

3月25日から62日間、1977年以来45年ぶりの住民投票を求める署名活動が行われ、大阪府民有権者の1/50を超える210,134筆（内有効署名数は192,773筆）の署名が集まり、7月21日、直接大阪府庁に届け受理されました。7月29日には、地方自治法に基づき、カジノの是非について住民投票を行う条例制定に向けての府議会が招集されました。残念ながら府議会では即日否決されてしまったのですが、これまでの経過とこれからの新建活動への総括としてここに記します。

□これまでになかった府民運動

市区町村レベルで住民投票やリコールのために1/50の署名を集めた事例は数々あります。しかし大阪府880万人を対象にその1/50の署名を集めるというのは、並々ならぬ労力と熱意が必要でした。しかも、もちろん新建大阪支部を含め、様々な団体が支援しましたが、原則は府民の個人活動がベースでした。3月25日からスタートした序盤戦は、「本当に集められるのだろうか」という感じでした。4月中は毎日の目標数に全く届かない日々が続きました。大きく潮目が変わりだしたのは、GWを挟む連休中のことです。もとめる会が、中之島まつりで新建大阪のブースを間借りさせてもらった3日間で、800筆を超える署名が集まったことが、この運動の結実に遠因していると、手前味噌ながら感じています。



□府民を足蹴にする大阪府議会の実態

7月29日の府議会では、もとめる会から30分間の意見陳述のあと、委員会も開かれず、審議もそこそこに即日採決されました。府議会の間接民主主義による議決に異議を申し立てているわけですから、本来はじっくり府民の声に向き合って審議するべきです。しかし府議会の多数派がカジノ賛成であり、既に3月に議会で可決していることから、住民投票を実施したら否決にひっくり返るかもしれない事案に対して、すぐさま闇に葬りたいというのが、府民ではなく首長のほうを向いている府議会の実態でした。大阪府政において二元代表制のチェックは機能不全に陥っているとしかいいようがありません。

□自治を取り戻す戦い

今回の運動は、単に大阪にカジノを作ることについての是非を問うというワンイシューにとどまらず、本来、府民・住民にとって、自治とはどうあるべきなのか、自ら考え行動するという「自治」のスタートラインを問い直すきっかけになりました。この署名による住民投票条例案をきっかけに、わたしたちのまちをどうしていきたいのか、どうすべきなのか、という自治を取り戻す戦いの第2ステージに駒を進めます。

□新建大阪支部でできることから始めよう

今回の運動における情報戦略部分は、私を含む数名で担当し、私自身はホームページ、メールニュース及びツイッターを担いました。これが電話とファックスだけであつたら、とてもではないですが、署名は集めきれなかったであろうと思われます。活動とともに情報発信をセットで行うことの重要性をヒシヒシと感じた「もとめる会」の運動でした。新建大阪支部においても、新たに情報発信できる体制づくりが不可欠だと感じています。

会員皆さんの情報発信基地として、新建大阪支部のホームページをワードプレスで再度構築中です。新たなホームページアドレスは、<https://nu-ae.com/osaka/> とし、年内には稼働する予定です。

愛農学園農業高等学校

伝統的トラス構法建築 見学会

伝統的トラス構法とは、合掌トラスとも呼ばれ天然小径木だけで組み上げた組梁で大空間を可能にした、日本独自のトラス構法です。要所はすべて伝統の確かな継手加工が施され、強度、耐久性、耐用性に優れ、VOCや廃棄物対応の環境の側面からも優位性があり、明治から昭和初期にかけて学校や洋館など、大空間が必要な建築に多く使われた実績があります。

今回は学校のご厚意により、工事途中の見学会を行うことができました。トラスのダイナミックな架構と天然木の継手の力強さなどを体感し、基本的な構造などについて設計者の（株）合掌さんの講義で理解を深める見学会となっています。

日時

2022年 9月25日(日)

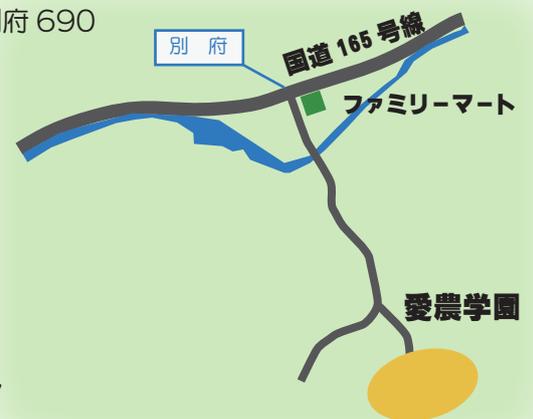
見学会 13:30～14:30 →移動 

勉強会 15:00～16:30 (予定)

場所

建物の見学 愛農学園農業高等学校 敷地内
三重県伊賀市別府 690

車で移動します！

勉強会 名張市民センター
三重県名張市上八町 1321-1
0595-64-2605

参加費

2,000円 (学生 500円)

申込先

(株) 木匠

TEL 0725-33-8780 FAX 0725-33-8877

E-Mail mokusyou@nifty.com

連絡先

(株) 木匠 飴村雄輔：090-3820-8841

大原紀子：090-5672-8043



現場の様子をご覧ください

